

京都の福祉

発行 京都府社会福祉協議会

本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。



2013
3
No.528

- 主な記事**
- 1面…もえくさ
 - 2～3面…福祉人材の確保・養成・定着をめぐる課題
 - 4～5面…みずのき美術館
 - 6面…はじまるくん寄贈プログラム
 - 7面…夢中!・熱中!・ふくしびと
 - 8面…京都府社会福祉協議会からのご案内



なんたんアートプロジェクト「ヴォワイアン亀岡へ来る」の様子

もえくさ

平成5年4月1日、京都府社会福祉協議会は社会福祉事業法の規定により京都府知事から「京都府福祉人材センター」の指定を受け（センター設置は平成4年4月1日）、様々な福祉人材確保、定着・育成のための事業を受託実施してきた。この4月で満20年を迎える。そもそも都道府県社協は、社会福祉事業の企画・実施や社会福祉事業従事者の養成・研修等を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体で、区域内における市町村社協、社会福祉事業等の経営者が参加する団体であることから、このような事業は、福祉団体の協働の結節点としての都道府県社協が担うべきと認識され、社会福祉法にもその考え方が引き継がれている▼この間、介護保険制度の導入や社会福祉法の施行後、様々な法人種別の参入が進行しており、福祉・介護サービス事業者全体の意識変革、サービス水準の向上に貢献しているが、一方で、「人材確保指針」（平成19年8月）に基づき人材確保方策の進展があまり芳しくない。一部には、福祉・介護サービス分野における一層の規制緩和を進めるべきとの意見もあるが、むしろ、同指針に基づく①労働環境の整備 ②キャリアアップの仕組みの構築 ③福祉・介護サービスの周知・理解等に一層の努力を傾注することが先決と考える▼例えば、福祉・介護サービスは安定的で将来性のある雇用の場として地域経済にとって重要な要素となっており、市町村の中には、地域振興策の一つとして認識するところも出てくる。しかしながら、平成21年を底とする有効求人倍率は、緩やかな上昇傾向にあり、その影響が、福祉人材分野での求職者数の減は大きく、福祉人材センター全体の有効求人倍率も上昇傾向にある▼この傾向は全国的な傾向で、旧来型の対策では回復しない限界的な状況にあるといえる。単発的で整合性に欠けるイベント的な対策の乱立や、投資に見合う効果が得られるか疑問を感じる集中的な職業訓練が、未来の京都府内の人材確保にどの程度有効か検証が必要だと感じられる▼府内社会福祉施設経営者の中には、多様な規模拡大を図る中、人材育成システムを含む人材マネジメント能力の向上や共同仕入れ等による経営努力を重ね、サービス水準の向上を図っている方もおられるが、そういった社会福祉施設経営戦略全体を、経営者組織と協働して、息長く支えていく仕組みづくりが必要なのではないかと考えている。そのことによって、福祉の仕事への魅力が実体として増し、定着効果を生み、結果として確保が容易になる好循環を生み出したいと思う。その大きな流れをつくる新しい動きに、21年目を迎える京都府福祉人材・研修センターも参加したいと念願している。(M・K)

京都府社会福祉協議会からのご案内

平成25年度 研修センター オリジナル研修のご案内

研修名	日程	申込締切
コミュニケーション マナー講座	南部1コース:6月5日	5月9日
	北部コース:6月12日	
	南部2コース:6月19日	
笑う介護士の真技	連続セミナー:7月2日、16日、30日	5月27日
コーチング スキルアップ研修	南部1コース:8月26日、27日	6月25日
	南部2コース:9月9日、19日	

※受講料は研修により異なります。その他、随時企画・実施をしております。詳しくは、下記までお問い合わせください。
京都府福祉人材・研修センター研修課
TEL 075-252-6296
本会ホームページ 講座・研修・イベント情報をご覧ください。

ご寄付ありがとうございました

一般財団法人
近畿陸運協会 様

平成25年2月22日(金)に、一般財団法人 近畿陸運協会 理事長様より京都府内交通遺児の福祉推進のため700,000円のご寄付をいただきました。
ご芳志の趣意を体し、有意義に活用させていただきます。
ありがとうございました。

施設整備にかかる融資事業のご案内

社会福祉施設の新設・改修等にあたり、「施設整備等融資金貸付事業」を行っています。貸付対象は社会福祉法人です(京都市内除く)。福祉医療機構と併せての借入も可能です。
詳しくは下記の会までお問い合わせください。

京都府社会福祉協議会 賛助会員募集のご案内

京都府内にお住まいの全てのみなさんが、安心して暮らせる福祉のまちづくりに向けて活動を行っています。そのためにも、教育機関や企業など幅広い団体の協力を募っております。本会の活動を支えるための賛助会員へのご加入をぜひご検討ください。
詳しくは下記の会までお問い合わせください。

～災害時に施設を支えるために、新しいCSRの形～

「きょうと福祉救援コーポレートカード」のご案内

福祉施設や企業活動の経費(光熱水費等)をカード支払いすることで、ポイントを基金(きょうとハート基金)に積み立て、災害時の復旧支援の助成金に活用する取り組みです。

■各ご案内のお問い合わせは 京都府社会福祉協議会 TEL075-252-6291
ホームページ <http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都の福祉

発行所 京都府社会福祉協議会
発行人 宮本 隆司
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375
TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310
URL <http://www.kyoshakyo.or.jp>

「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せ下さい。表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)

本会へのご意見等は、左記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。



夢中!・熱中!ふくいびと

～だから続けたいこの仕事～

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。



高齢者の方と接し介護・福祉の魅力実感

総合老人福祉施設 弥栄はごろも苑 井原 信実さん

プロフィール



施設名：弥栄はごろも苑
氏名：井原 信実
職種：生活相談員(短期入所)
経験年数：10年(みねやま福祉会へ就職して10年目、弥栄はごろも苑に異動して約2年)

- ◆好きな言葉
強い者が勝つのではなく、勝った者が強い。
- ◆夢中になっていること
強い体をつくること。

10年経っても未だに慣れない介護の世界ですが、福祉職に就くため学生時代に勉強をした人間ではない視線で、自分なりに介護の魅力を探し、これからのこの仕事に貢献できたらと思います。

私が、「介護職」に就いたのは10年前のことでした。広島で育った自分としては丹後の厳しい冬と、老人介護の仕事に対する志もそれほど高くなかったこともあり、何度も辞めようと思っていました。そのようなときに、事務職からデイサービスへ異動となり、直接、高齢者の方と接することが増えたことで、老人介護の魅力や社会における介護・福祉の必要性を強く感じるようになったことが、この仕事を続けようと思ったきっかけです。その後、介

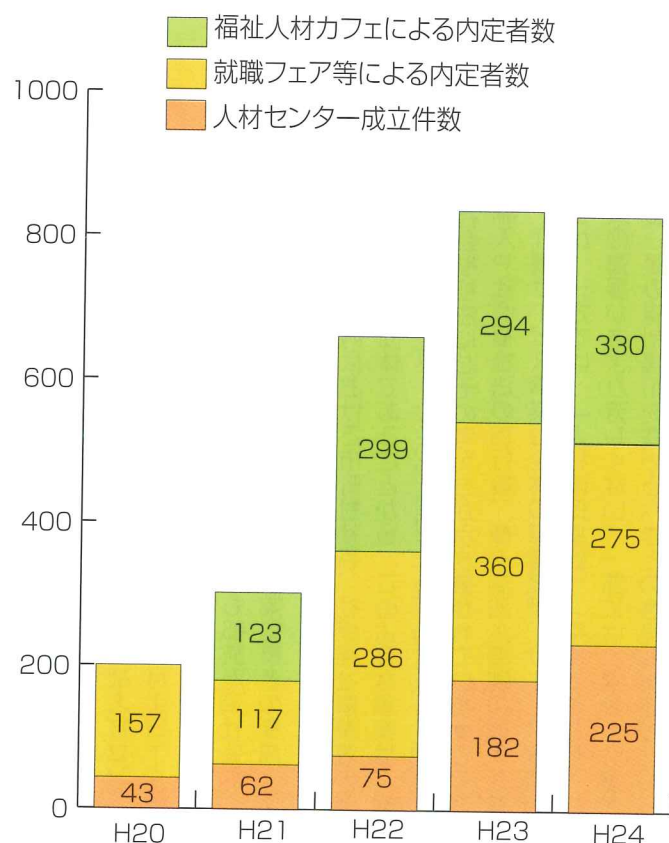
護士を経て生活相談員になり、2年前の異動からはショートステイの生活相談員として調整に明け暮れています。ショートステイに関して、初めはデイサービスに泊りが付いたぐらいかなと思っていましたが、こんなにも内容が違い大変な事とは思っていません。全てを一人から勉強しないといけない毎日でした。この仕事が天職か?と聞かれれば「たぶん違う」のかもしれない。しかし、今与えられた仕事は、ご利用される方ももとより介護者の方の精神的・肉体的負担を軽減していただくために必要不可欠であり、責任を持って行いたいと思っています。

平成24年度 求人求職・登録月別状況

求人相談	求職登録数		「福祉のお仕事」ホームページアクセス数	あっせん数 センター窓口	応募数 COOLなび	就職成立件数 (判明分) センター窓口
	一般	学生				
277	112	123	23,956	62	109	38
317	181	104	31,975	54	69	18
403	125	45	32,923	39	68	12
265	142	39	30,178	48	70	16
293	138	14	32,880	45	75	19
354	141	11	29,419	57	76	12
315	238	14	35,014	77	108	27
318	155	19	37,509	40	75	24
360	101	22	32,675	40	67	15
326	170	7	39,324	43	82	10
387	177	10	39,789	59	144	12
370	180	60	30,067	77	176	22
3,985	1,865	468	395,709	641	1,119	225

表2

福祉人材センター主な事業の実績推移



創出もあり人材の確保が進まず、施設の開所が延期される事態なども起きています。京都府福祉人材・研修センターにおける有効求人倍率をみても、平成25年1月で2.34倍となっており、求人が求職者を大幅に上回る状況になっています。センターでは、マッチング事業の強化や就職フェアの開催、きょうと介護・福祉ジョブネットによる各関係団体や大学との連携を通して福祉人材の確保に尽力していますが、多くの求人者が寄せられており、求職者の確保が追いつかない状況です。(表1・2)

介護・福祉人材の確保をめぐる状況は年々ひっ迫してはいますが、数の確保はもとより、質の確保も一方で重要な課題です。就職フェアに参加したある事業所からは、福祉の仕事や職場に対する

福祉人材は育てて確保

福祉人材の確保・養成・定着をめぐる課題

「福祉人材の安定的な確保と福祉サービスの質の向上を目指した取り組み」

不足する福祉人材

介護・福祉人材の不足が叫ばれて久しくなりますが、一般の求人動向全体が回復傾向にある中、京都府においても平成21年度には0.47倍であった有効

求人倍率が平成25年1月には0.85倍に持ち直していることもあり(京都労働局)、福祉職場における人材の確保は年々難しくなっています。とりわけ府北部では、大型商業施設の相次ぐ出店などによる新たな雇用の

東日本大震災の畿内避難者にパソコンを寄贈

株式会社オージス総研では、使用済みパソコンを利用した社会貢献活動の一つとして、平成22年より「東日本大震災被災者様向け」はじまるくん寄贈プログラム」を実施されています。

この取り組みは、大阪ガスグループをはじめ企業等で使用終了したパソコンを障害者施設で再生（リフレッシュ）し、きれいになったパソコンを東日本大震災による避難のため近畿二府四県にいられている方に寄贈するものです。

京都府内に避難されている方に対して、22年度は株式会社サンモアテックの協賛により28台、23年度は大阪ガスサービスショップ協会の協賛により19台のパソコンが贈られました。（寄贈は翌年度）

パソコンの初期設定に不安のある方には、オージス総研の社員ボランティアが訪問して設定のお手伝いもされています。

パソコンを希望する方からは「就職活動や生活情報の入手のために使用したい」といった声が多く寄せられております。また応募が多く抽選のため、すでに25年度の応募について問い合わせも入っており、引き続き取組みが継続されることを期待しております。



株式会社オージス総研の社員ボランティアが初期設定のお手伝い

株式会社オージス総研

表1

区分	求人数 (件数)	
4月	530	(211)
5月	344	(184)
6月	970	(298)
7月	449	(201)
8月	450	(212)
9月	791	(300)
10月	491	(244)
11月	471	(227)
12月	718	(274)
1月	550	(249)
2月	538	(274)
3月	509	(271)
合計	6,811	(2,945)

して予備知識のないまま来場する人が少なくない、との声も上がっていました。しかし、こうした求職者に福祉の仕事や職場、また利用者に対する理解を深めてもらうことなく、数の確保だけを優先しても、利用者への適切なサービスの提供に支障を来すだけでなく、仕事に対する高いモチベーションを持つことは困難です。そして、早期の離職に至ってしまう、といったことも懸念されます。

福祉の仕事の魅力を高める

介護・福祉サービスが人を相手にする対人援助職である以上、「量」と「質」の両方の確保が不可欠です。そのためには、多くの人に福祉の仕事を目指してもら

えるよう、その「魅力」を伝えるとともに、教育や研修を通じて仕事に対するモチベーションやスキルを高めることが可能です。そして、早期の離職を防止し、定着を促すことが重要です。

さまざまなおメニューで福祉人材の確保・養成・定着を

ユーザーにとって安心して利用できること、はもちろん、働く人にとってもやりがいを持って長く働き続けることができるよう、福祉の仕事や職場に対する魅力を高め、必要に応じてサポートを行います。

さらに研修事業では、経営協会は、各種別組織、職能団体などの関係団体との連携・協働を一層促進し、「京都府社会福祉協議会第三次中期計画」に基づき、定着支援の重要なキーワードである中堅・リーダー層への研修を強化します。また、全社協会の「キャリアパス対応生涯研修課程」を導入する

福祉の仕事は高齢者や障害者等の生活を支える、なくてはならないものです。また対人援助職としてスキルを高め、理解を促進することが、福祉の仕事に対する関心を高め、人材の確保に結びつけるために重要です。そして、確保した人材を教育・研修を通じて養成する取組みを通じて、利

京都府福祉人材・研修センターでは、Eメールを活用した求人情報のリアルタイムでの提供など無料職業紹介機能の強化、福祉関係団体の自主性を活かした福祉職場就職フェアの実施、関係機関・団体等の包括的・継続的なサービスメニューを提示し、福祉を目指す学生等を応援する大学等と連携した福

保を図るための「保育人材マッチング支援事業」を受託し、求人情報の掘り起し、就職情報の収集、きめ細かな相談やカウンセリングによるマッチング等を行うこととしています。



就職フェアの個別ブースの様子

また、きょうと介護・福祉ジョブネット事務局として、参画団体や経営協等関係団体と連携・協働し、様々な人材確保・定着事業、仕事理解促進事業を推進します。



福祉の仕事相談コーナー

福祉の仕事
相談コーナー

福祉事業を始めるなら賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度「まごころワイド」をおすすめします!

充実の賠償責任補償制度、安価な傷害見舞金補償制度など必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **SRM 株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-822-8613**

福祉の保険ホームページ www.srm-net.co.jp/smile/

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

人と人、地域を様々な形でつなぐアート

亀岡の「みずのき美術館」

亀岡駅近くの「北町商店街」の一角でかつて理髪店だった建物を改修し、2012年10月7日に「みずのき美術館」がオープンしました。1990年代、日本でいち早くオール・ブリュットとして紹介された歴史をもつみずのきが、「すつと亀岡でやってきたから」と、日本財団の協力を得て取り組んだ新たな挑戦です。既存の方法にとらわれない人と地域への取組みについて、みずのき美術館の奥山理子さんにお話を伺いました。

「事実を残したい」 美術館のきっかけ

みずのきでは1964年から約50年間続けられてきた「絵の時間」の中で、

知的障害をもつ人たちの絵の魅力が引き出され、高く評価される作品が生まれました。そ

こでみずのきは、ものを語らぬ彼らの才能・作品の素晴らしさをきちんと代弁できる空間づくりが必要だと考えたそうです。また、「日本で先駆的に活動してきたみずのきに美術館を開設して欲しい」という声をもらったこと、「歩んできた経緯を事実として残したい」

という思いから美術館の設立に向けて動きだしました。
存在を認め合える関係性と可能性

2007年から新たにアートプロジェクトとして、色々な企画やワークショップが実施されました。中でも利用者やアーティストが2人ペアになって作品を作るという企画は、利用者との新たな関係性を関係者に気づかせることになりました。それはアーティストが利用

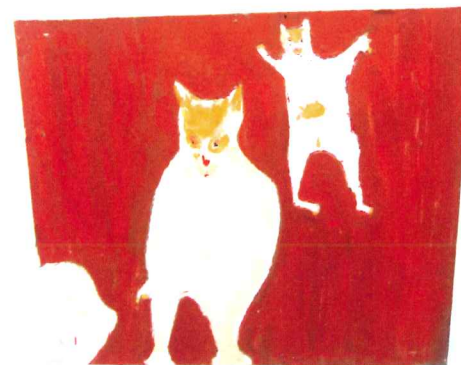


1階正面 通りかかる住民の方と交流できます



2階 白い壁と木のほりが温かな雰囲気です。作品を見やすくしています

みずのき美術館にはオール・ブリュット作品(*)を中心に、様々な作品が展示されており公演・ワークショップ等、「アート」を多様な方面から捉える催しが行われています。
(*)オール・ブリュットとは、生(き)の芸術。フランスの画家デュビュッフェにより提唱されました。美術教育を受けていない人などが、既成の表現法にとらわれず自由に制作した作品をいいます。



みずのき所蔵作品(故小笹逸男作)

アーティストが利用

にもきつといるであろう、創造性に満ちた人の発掘にも力を注いでいくそうです。

人や地域との関わり 福祉従事者だからこそこのこだわり

美術館周辺の商店や住民の方たちは「にぎやかにって嬉しい」と温かく迎えてくれました。商店街の中にあることで、地域住民の暮らしに根付き社会と障害者をつなぐ役割を担っています。

また、今後は、トークイベントやワークショップを定期的に開催し、広く多様な文化を

紹介していくことで、私たち一人ひとりが自己肯定できる社会・空間づくりに取り組んでいくそうです。
「作品を通して作った人の存在を感じて欲しい。さまざまな『個』に出会うことで、人間の多様性の理解が広がれ



開館記念展(3/17終了)の様子

まとめ 「と奥山さんは言います。」

みずのき美術館は、「多様な人の理解」の発信と「対等なつながり」を生み出す活動を通して地域福祉を展開し、本人や家族だけでなく地域住民にとっても「表現できる場」になっています。アートの視点から人と地域をつなぎ、温かな社会を目指すみずのき美術館は今後も発展していくことが期待されます。府社協としても、そうした地域に開けた「居場所」を増やしていくために広報啓発等の支援を続け、地域と施設の接点をつないでいく役割を強化していく必要があると感じました。

見せたい、見せたいの 本人と家族の喜び

美術館には出展者やその家族も訪れます。これまでは分からないからという理由で育みにくかった本人の創造的な面を、展示会をおして具現化した時の驚き、喜びは、家族だけでなく本人にとっても自信につながっています。そういった感動や喜びを広めるために、みずのき美術館では展示する作品を期間ごとに変わるとともに、南丹の地域

●みずのき美術館

開館時間 / 10:00 - 18:00

休館日 / 月曜日・火曜日

入館料 / 一般 400円 高大生 200円
中学生以下無料

住所 / 〒621-0861 京都府亀岡市北町18
アクセス / JR嵯峨野山陰線 亀岡駅下車
南口より徒歩8分

※美術館に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

■お問合せ

TEL 0771-20-1888

FAX 0771-20-1889

ホームページ www.mizunoki-museum.org

E-mail info@mizunoki-museum.org



●次回展示会のお知らせ

堀田哲明 個展

※6月頃の開催を予定しております。
詳細はホームページでご確認ください。



みずのき美術館外観